2015年 年頭所感

4千人会員の早期実現へ

大阪府歯科保険医協会理事長
小澤　力

明けましておめでとうございます。昨年は協会の諸行事や運動へご参加・ご協力くださり、誠にありがとうございます。

安倍政権のこの2年間は欺瞞の連続でした。「消費税は社会保障にしか使いません」「世界に誇る国民皆保険制度を基礎として社会保障制度を断固として守ります」「〝フクシマ〟の状況はコントロールされ、汚染水による影響は完全にブロックしています」と。

同時に、憲法9条・25条、そして国民生活の破壊が進められました。しかし、これらはまだ緒についたばかりです。集団的自衛権も、社会保障の大改悪も、原発再稼働も、TPPも、今年本番を迎えます。昨年末の選挙での比例得票率は、自公あわせて4割強でしかなく、また、個々の政策の世論調査でも政府の政策への支持は少数にとどまっています。まさに、国民・患者さんとの共同がますます重要となってきます。

消費税増税や円安などによる影響をはじめ材料が高騰し、歯科医院経営に追い討ちをかけています。高い窓口負担や高い国保料にえて暮らしが厳しくなるなか、受けの手控えや中断が増加しています。

協会が昨年実施した第2回の学術歯科治療調査では、検診で要受診断された子どものうち、5割以上が歯科受診できていない実態が明らかになりました。この状況は医院の努力や、また歯科医療界だけで改善できるものではありません。

協会の目的は、保険医の生活と権利を守り、府民と連携して歯科医療の充実を図ることです。4千人会員の早期実現で主体的力量を向上させると共に運動を強化し、先生方のえとなれるよう全力を尽くします。厳しい状況であるからこそ協会に集し、受ける側も、提供する側も心と希望がもてる歯科医療の実現めざしましょう。

先生方のご指導、ご鞭撻をお願いして、年頭のご挨拶といたします。

歯界

昨年も火山の噴火など自然災害の多い年だった。生物災害も通常の感染症の他に、珍しくデング熱が現れた。動物災害も例年のカラスや鳩や猿の他に鹿、猪、熊まで出没した。農家の損害は何十億円の単位である。

今年の干支の羊は8000年も昔から文句も言わず家畜として人類に貢献してくれている。群生が特徴だから国土の狭い日本ではメジャーではないが、世界中で飼われている。

ニュージーランドへ行った人によると、何処へ行っても人よりも羊だらけだそうだ。

この大切な家畜の病気は人間の病気よりも重大事である。当然の成り行きでルイ・パスツールのような医者の十倍偉い獣医の大先生が世に現れた。羊の病気のついでに人間の病気にも応用された。

人も羊もこの同じ惑星に生息する同じ哺乳類だから、人に毛織物の原料や食肉を提供するだけの存在ではない。クローン動物の第一号は蛙だったが哺乳類初めての栄冠は羊のドリーが受けた。

平和を願う医療人として

大阪府保険医協会理事長
高本　英司

新年明けましておめでとうございます。昨年は歯科協会の諸行事にご参加ありがとうございました。今年も会員の先生方、院所にとって、有意義な実り多い一年でありますように念願いたしております。

両協会役員・職員総力を挙げて、先生方からの率直なご意見に耳を傾け、院所の経営と地域医療の改善のために努力していきたいと思います。

昨年は「小保方STAP細胞」の話題で年が明け、安倍政権の突然の解散・総選挙で幕を閉じました。世情的には腰の据わらないざわついた一年でした。ただ青色発光ダイオードの発明・開発による赤崎、天野、中村3氏のノーベル物理学賞受賞は、私欲のない長い地道な研究努力の積み重ねの上にあるという、大切なことを私達に教えてくれました。

成長戦略の中で成果主義を強調していた安倍首相が、アベノミクスで成果を上げられず解散に追い込まれたことは誠に皮肉なことでした。

今年は医療・介護総合確保法の流れで地域医療ビジョンが具体化される年であり、大阪府下でも医療・介護体制の大改革が断行されます。両協会の特長を生かしつつ政府・厚労省、大阪府市の医療・介護政策の情報収集・分析を強化し、会員の先生方にいち早くお知らせしたいと考えています。

待合室から医療を守り発展させるためにも、診療報酬上の疑問や地域に生じるさまざまな問題点を協会にお寄せいただければ幸いです。

また今年は1月に阪神大震災20年、4月に地方統一選挙、8月に戦後70年を迎えます。様々な歴史の教訓をくみ取り、改憲、集団的自衛権行使容認、特定秘密保護法など戦前の再来を想起させる動きに警鐘を鳴らすべく、平和を希求する医療人として賢明な選択とオピニオンリーダーとしての役割を果たすことが期待されています。

今年も歯科協会と力を合わせ「頼りになる協会」をめざし頑張りますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます

大阪府歯科保険医協会
役員・事務局一同

理事長　小澤　力
副理事長　貴島正彦
同　下井戸昭介
同　辻本　勝
同　戸井逸美
同　冨本昌之
同　三井泰正
同　吉田裕志
理事・相談役　伊津進弘
同　小山榮三
理事　中安積豊
同　江原豊
同　近藤正
同　杉本叡
同　谷聰
同　段野和茂
同　寺嶋洋幸
同　中西幹夫
同　中村新太郎
同　早田寿夫
同　兵頭正道
同　三木正弘
同　森啓
監事　矢部あづさ
同　新宅雅丈
顧問　古田光行
同　永田悦夫
名誉理事長　山上紘志
事務局長　玉川和隆
同　志岐敬

年末年始の業務についてのお知らせ

協会・協同組合の年末年始の業務と本紙の発行は、次の通りになります。

【業務】協会・協同組合は12月27日～1月5日まで休務とし、1月6日から通常業務を開始します。

【新聞発行】12月25日付と1月5日付を合併し、1月1日付新年号として発行しました。1月15日付は休刊し、1月25日付から通常発行します。